

Berlin Report

November 2017

CONTENTS

- * Project 1: NAUTA Berlin
- * Project 2: The Orania.Berlin

1. NAUTA Berlin

Project Overview

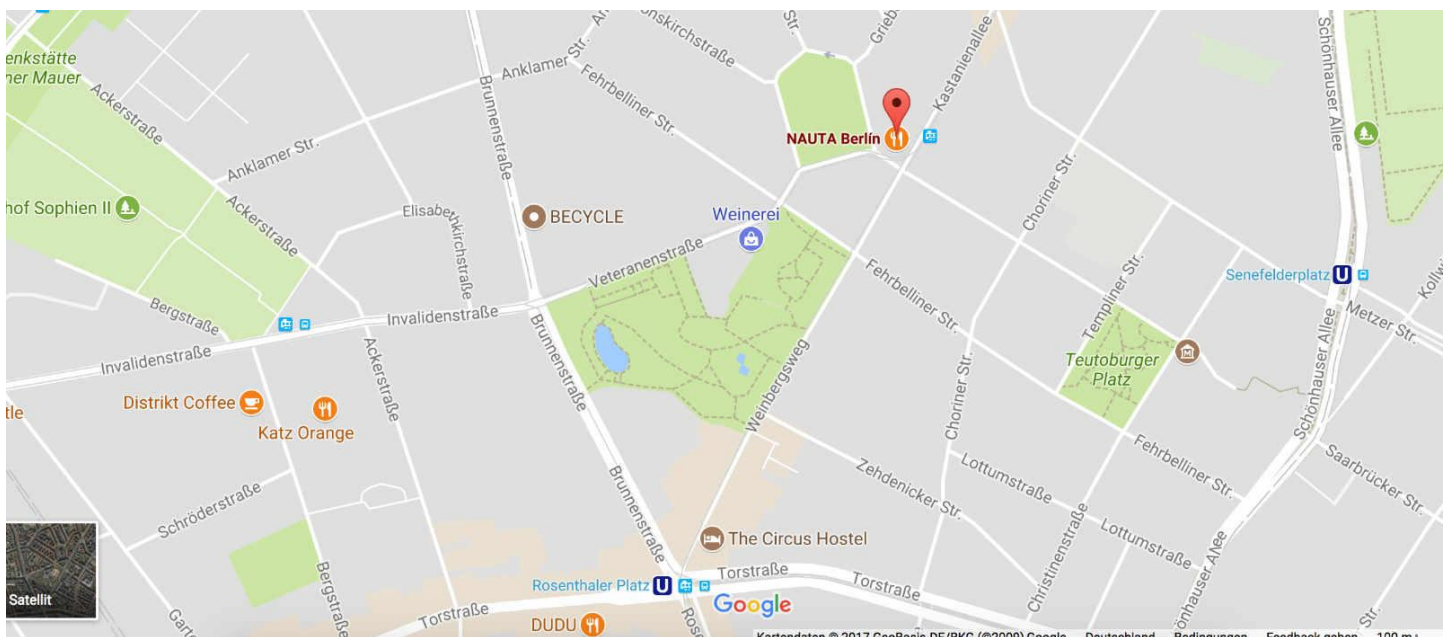
いま世界中で話題のフードトレンド「NIKKEI」。ニッケイとは「日系」。ペルーに移住した日本人が、現地の豊かな食材や調味料を生かして作った日本料理に端を発する、フュージョン料理だ。

今年5月、ベルリンにオープンした「NAUTA」もニッケイ料理を提供するレストラン。内装も、和のテイストにペルーの民族衣装などに見られる独特の色を組み合わせたという、まさにフュージョンなインテリアだ。店の天井や壁に白木の木枠を取り付け、ペルーの、特にアマゾン地方の文化を喚起させるという鮮やかな色合いのカラーバンドを張り巡らせている。壁もカラーバンドも黒が基調だが、暗さや圧迫感は感じられない。窓の日よけや間仕切りにも同様の素材を採用しているが、カラーバンドはあえて隙間をあけて編みであるため、外光が差し込むのがポイントだ。床のタイルにもカラーバンドと同じ配色が使われ、店奥にあるキッチンのタイルは赤で統一。店に入るとすぐキッチンに目が行き、食事への期待が高まる仕掛けだ。オーナーシェフのユアン・ダニーロはペルー系のドイツ人。柔道を学び、アマゾン生まれのベビーシッターから多大な影響を受けたという。複数の文化からの色濃い影響を受け育った彼が考える、自らの根源をモダンに解釈した料理と、空間作りは、ペルー大使館などにも高い評価を受けている。ペルー発のカクテルや料理のブームにも後押しされ、連日満席が続いているのだ。

Project Details

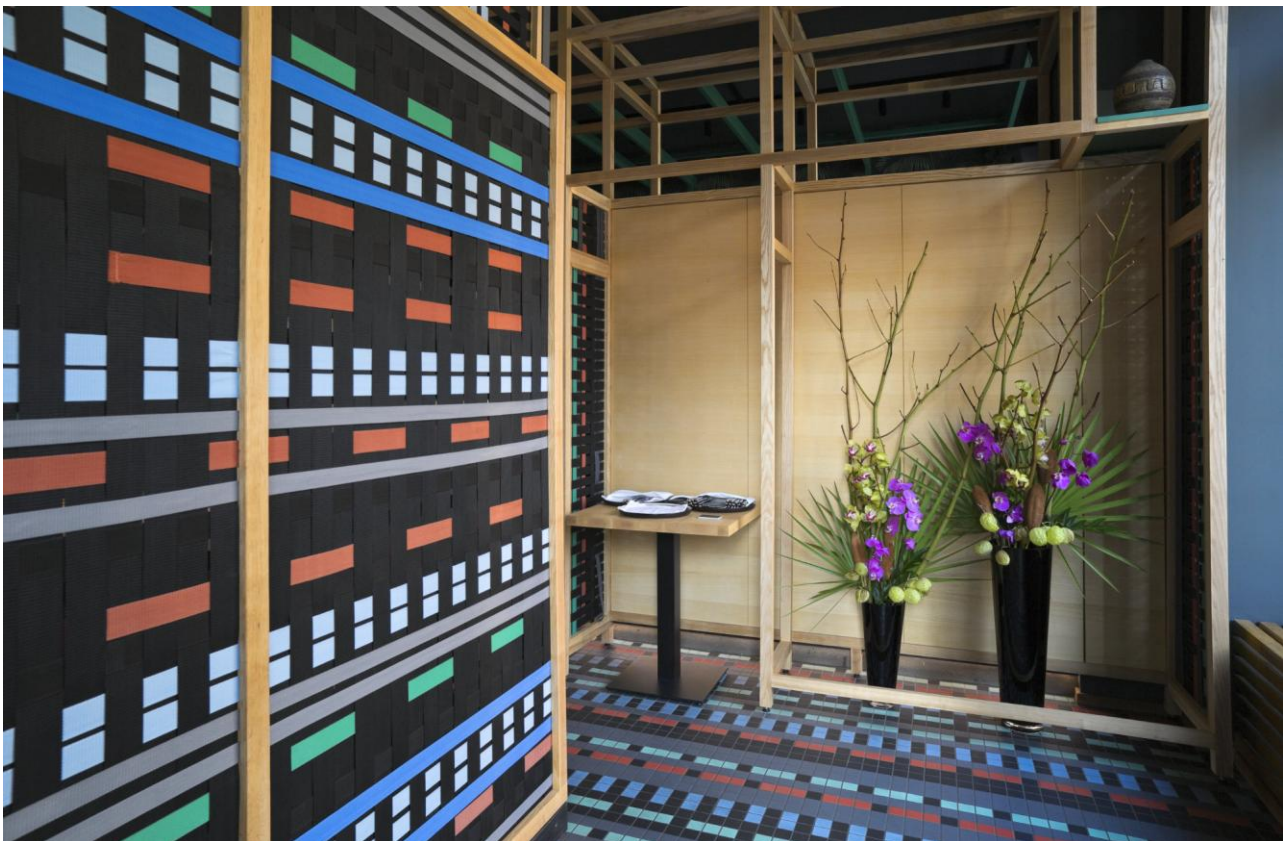
1. Type of Business : Restaurant
2. Open Date: 18/05/2017
3. Location: Kastanienallee 49, 10119 Berlin
4. Size: 70 seats
5. Designer: Felix Pahnke

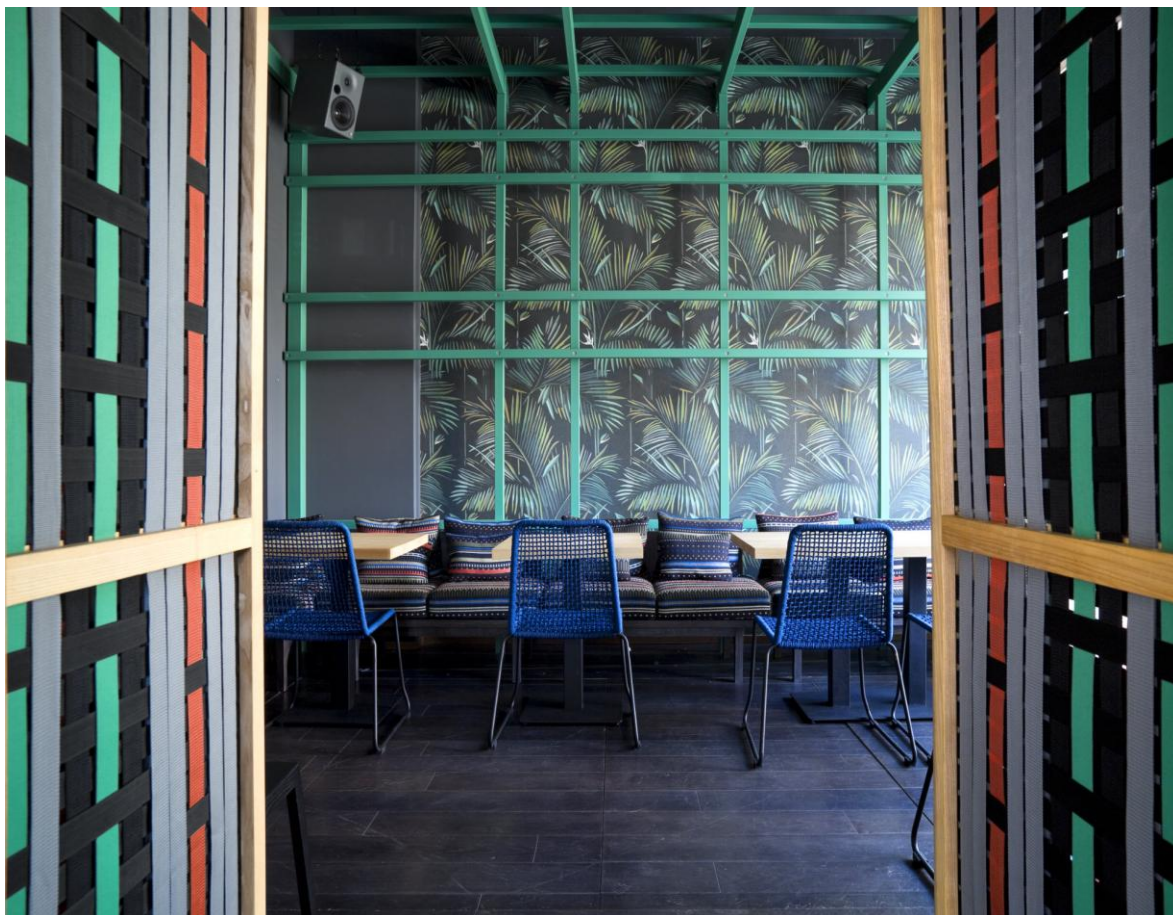
Location Map





(上：カラーバンドとタイルの模様が呼応し、差し色の赤がキッチンへとお客の目を誘導する。下：床の間のようにもみえる入り口。)





(上：アマゾンのジャングルをイメージしたコーナーは個室にもなる。下：和風すぎないシンプルなテーブルや椅子も木枠と同素材で統一。)



2. The Orania.Berlin

Project Overview

1913年に建てられた、重厚な5階建てのデパート「カウフハウス・ブレニングマイヤー」。ディスカウントストアやクラブ、展覧会会場などの様々な歴史を経て、今年8月にホテルとして生まれ変わった。

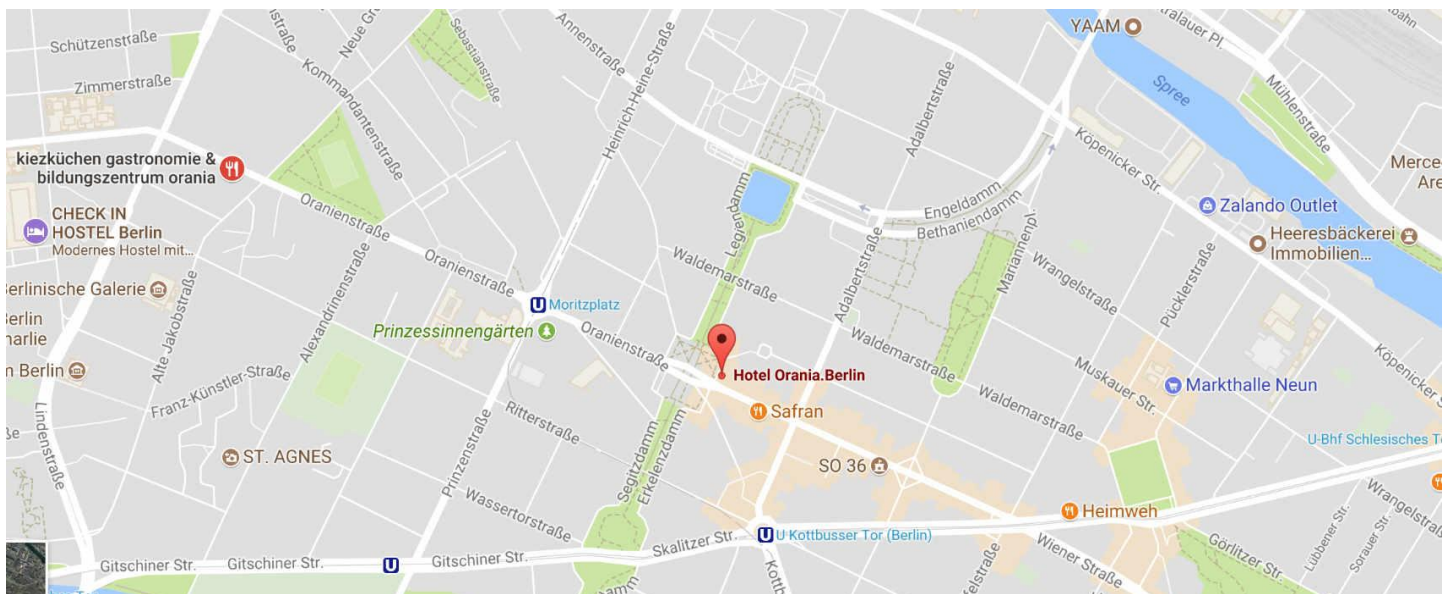
「5つ星」などの格付けをあえて排した41室のホテルは、自然素材を多く取り入れ、トレンドカラーでもある暖かみのある赤を基調にした、くつろぎのインテリア。フローリングはもちろん、ベッドやテーブル、暖房器具の目隠しなどにも意識的に異なる木材を使用し、ゼブラウッドなどの特徴的な木目の模様をアクセントにしているのも面白い。内装を担当したのは、オーナーでもあるディートマー・ミュラー＝エルマウだ。2015年のG7の開催地ともなったエルマウ城ホテルのオーナーとしても有名な彼。ベルリンで流行りのシャビーシックとは一線を画する、ラグジュアリーモダンを目指した。

クリエイターや若者に人気のクロイツベルク地区にある建物は、元デパートということもあって、メインストリートに面して大きく開かれた窓がある作り。それを生かして、1階の大部分は一般客向けのレストランとバーに。ホテル施設は入り口横に小さなレセプションとコンシェルジュを設置するだけにとどめ、オープンキッチンのレストランも壁ではなくカーテンのみで仕切る、開放的なワンフロアにした。グランドピアノを置いたコーナーでは、定期的にジャズやクラシックなどのコンサートを開催し、週末はDJが入って盛り上がっている。

Project Details

1. Type of Business : Hotel
2. Open Date: 21/08/2017
3. Location: Oranienplatz 17, 10999 Berlin
4. Size: 41 rooms (16 suites)
5. Interior Designer / Architect: Dietmar Mueller-Elmau

Location Map





(上：長らくインドに住んでいたこともあるオーナー。テキスタイルにはインド象のモチーフが。下：スイートのリビングコーナー。)







(上：最上階にある 200 平米のサロンは会議室としても人気。下：カラフルなバスローブはオリジナル。アメニティなどはベルリン発のオーガニックコスメブランドのフルボトルを使うなど、環境への配慮も。)

